



～地域と関わりながら～

今回は、主に地域交流や地域貢献活動の様子を紹介します。新型コロナウイルスの影響で直接的な交流の回数は減っていますが、地域の方々のご協力を得ながら、数少ない機会を大切にしながら交流しています。ゆり支援学校の良さ、児童生徒たちのがんばりを知ってもらい機会となるよう、今後も可能な範囲で交流を続けていきたいと思っています。

小学部

居住地校交流

小学部では、自分の住んでいる地域の小学校を訪問し、一緒に交流や学習活動を行う『居住地校交流』を行っています。共に学び、相互理解を深めながら、特別支援学校に通う幼児児童生徒にとっては、地域とのつながりをもち、地域社会の中で積極的に活動していく素地作りを目的としています。

交流校には、同じ保育園に通っていた友達もいます。交流を重ね、今年も会えた喜びを互いに感じ合いながら、交流をしています。本年度は22名の児童が交流を行いました。



TDK野球部との交流

6月17日、TDK野球部による野球教室がありました。ボールやバットに触るのも初めてだった児童たちは、選手の方々に「ナイス!」「うまくなったぞ」と言葉を掛けてもらい、笑顔いっぱいの時間を過ごしました。



中学部

花苗の植栽～菖蒲公園、ゆり花壇～

総合的な学習の時間「水林ピカピカ大作戦」で、学校周辺の清掃や花壇の整備、落ち葉拾いを行っています。

5月6日、今年度は浜ノ町町内から依頼を受け、町内にある菖蒲公園に町内会の方と一緒に花苗200株を植えました。

国道7号線沿いにあるゆり花壇は、浜ノ町町内の方と一緒に整備している花壇です。6月2日、町内の方が耕してくれた花壇に、一緒に花苗を植えました。

花苗は大きくなり、きれいな花を咲かせ、今年も地域の方の癒しとなったようです。



高等部

クリーンアップ、環境整備

高等部では、「地域の人たちに喜んでもらえるように」という気持ちで地域のクリーンアップ活動や環境整備を行いました。

コロナ禍ということで直接的な交流が制限されている中ではありますが、今だからこそ学部間での交流を大切にしています。2年生は小学部の児童と一緒に道川海水浴場でごみ拾いをしました。高等部の生徒が小学部の児童をリードし、優しく手をつなぎながら、時間いっぱいごみを拾うことができました。

1年生は萬生苑の窓ふき、除草、花壇整備を行い、施設の方に喜んでもらうことで達成感を得ることができました。

3年生は、学校周辺の道路のごみ拾いをしました。箆をかき分けたり、足場の悪い斜面に入り込んだりと、道路から見えないごみまで拾い集めました。「人に見つからないから、草むらにごみを捨てるんだ」と気付いた生徒もいました。



<木工班（10月1日）>

鳥海トライブの松本さんをお招きして、製品開発会議を行いました。使う人の気持ちになって製品を作ることの大切さを教えてもらいました。



作業学習

<食品加工班（5月14日）>

新製品の開発に向けて、地域でカフェを経営している「田屋」の齋藤さんと「結ま〜る」の東海林さんからアドバイスをいただきました。新製品は「ゆりのめぐみのたからばこ」として、ネット販売を行っています。



<農園芸班（7月2日）>

全国花のまちづくり由利本荘大会の事務局より依頼のあった花苗を、西目高校と協力しながら育苗しました。

西目高校に種から発芽までをお願いし、育った花苗を西目高校の生徒とプランターへ植栽したり、木のおもちゃ美術館の花壇に植栽したりしました。



<ビルクリーニング班（9月22日）>

地域の自動車販売店の床のワックスがけを行いました。お客様に店内で気持ちよく過ごしてもらえるよう、丁寧な作業を心掛けています。



部活動

11月2日、サッカー部はブラウブリッツ秋田の選手の皆さんとサッカー教室を行いました。ブラウブリッツ流のウォーミングアップや練習メニューを一緒に行ったり、プロの視点からのアドバイスをもらったりしながら、プロの技に触れる貴重な時間となりました。その後の練習に一段と力が入り、11月27日に開催された特別支援学校総合体育大会代替大会で優勝しました。



地域の皆様と直接触れ合う機会は少なくなりましたが、ゆり支援学校は地域交流・地域貢献活動を続けていきます。今後も地域の皆様に、本校児童生徒の自立と社会参加をサポートしていただけると幸いです。これからもよろしくお願ひします。